



1915 ドッジ兄弟



製造情報

製造商	ドッジブラザーズ
組付工場	Hamtramck, Michigan
モデル生産量	未知の
総生産量	45,000 (完成車)
馬力	35
重量	2,250ポンド/ 1,021キログラム
当時売価	\$785 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

全てスチールボディ

12ボルト電気システム(当時は6ボルトが主流)

ギアシフト方式のトランスミッション

「信頼できるドッジ」

35馬力のエンジン

1920年フォード社に続く第2の自動車会社に

ライバル現る!

ジョンとホレスのドッジ兄弟は1903年のフォード社の最初の株主の一人でした。彼らはその後、デトロイトで最も成功した生産機械工場を運営し、初期の2気筒のフォードの車の機械部品のほとんどを製作しました。ピケット通りでの最初の数年間、フォード社は他の会社が製造した部品を組み合わせて車を生産していました。しかし、1914年までにハイランドパークの工場ですべての部品を製造するとともに組み立てラインを確立し、年間で200000台以上の車を生産していました。したがってドッジ兄弟は、部品製造をやめドッジメインをハムトランクで生産し始めました。1914年に生産されたドッジ・ブラザーズの車は当時1914年モデルと見なされていました。これらは後(1923年頃)にマーケティング目的のために遡及的に再びデザインされたが、20馬力で490ドルのフォードモデルTに比べると、785ドルとやや高級であった。